

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

< 目次 >

- 1 【家庭学習】子どもを伸ばすには
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

1 【家庭学習】子どもを伸ばすには

今から40数年前の1964年、アメリカの教育学者ローゼンタールらがサンフランシスコの小学校で「期待と学力」に関するある実験をおこないました。

学級担任に“今後数か月の間に成績が伸びてくる児童を割り出すための検査”であることを事前に知らせて検査をおこない、その検査結果の名簿を見せながら「この名簿に記載されている児童が、今後数か月の間に成績が伸びる児童である」と伝えたところ、その児童たちは確かに成績を伸ばしたのです。

実は、実施された検査は“今後、成績が伸びる生徒を割り出す検査”でもなんでもなく、何の意味のない普通の知能テストであり、学級担任に見せられた児童の名簿も、検査結果に関係なく無作為に選ばれた児童の名簿であるにもかかわらず・・・。

児童が成績を伸ばしたのは、学級担任が「今後、伸びる児童である」という検査結果を信じて、期待のこもった眼差しを向けていた結果であると考えられています。これを、ローゼンタール効果またはピグマリオン効果と呼んでいます。

これは、学校のみならず、家庭でも同様なことが言えます。親が「この子は伸びる」と思い込むと、その期待に相応しい働きかけをおこない、子どもも期待されていることを意識するため、結果として伸びていきます。逆に「この子はダメだ」と思い込むと子どもは伸びません。

親として「この子は伸びる」と信じていきましょう。そして、「大丈夫だよ。できるよ。」と声をかけてあげましょう。子どもの可能性は無限大です。

2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

- (教ちゃん) 皆さ〜ん。教育振興運動のイメージソングの歌詞を応募してくださいまして、ありがとうございます。
- (振ちゃん) 応募締め切りの2月20日(月)まで、まだ1週間あります。まだ応募していない方、お待ちしてま〜す。
- (教ちゃん) これまで、岩手日報、毎日新聞、奥州えふえむ、エフエム岩手(八幡平支局・釜石支局)、みやこ災害エフエム、テレビ岩手HP、清心HPにおいて、このイメージソングの歌詞の公募を紹介していただきました。皆さんがイメージソングづくりに注目して下さっていて、とってもうれしいです。
- (振ちゃん) これからは、16日(木)はテレビ岩手「5きげんテレビ」の“ビバわんだふお〜”、17日(金)は“えふえむ花巻”、18日(土)は“みやこ災害エフエム”に生出演させていただき、紹介をさせていただきます。皆さん、見て、聴いて下さいね。
- (教ちゃん) そうそう。この前、ある市の教育委員会の方から相談をいただいたのよ・・・。
- (振ちゃん) えっ? どんな相談だったの?
- (教ちゃん) 来年度、市内小学生の合同キャンプを計画しているのだけど、キャンプファイヤーの時にこのイメージソングを清心さんと一緒に歌いたって言ってくださったのよ。
- (振ちゃん) わぁ・・・。うれしい! 素敵な企画だね。
- (教ちゃん) 教育振興運動のイメージソングは、人と人のつながりを大切にしていって地域をつくっていきましょうという“地域の絆の旗印”としてつくるものなので、学校や社会教育事業で、どんどん歌ってもらいたいわ。キャンプで歌うのは、ピッタリよね。
- (振ちゃん) 本当にそうだね。岩手のみんなが口ずさむ歌になれば・・・夢が広がるね。“きよーしん”さんも喜ぶよ。
- (教ちゃん) 清心(きよみ)さんです。
- (振ちゃん) あら?

★小学生・中学生、地域の方からイメージソングの歌詞を大募集!

公募要項・チラシはこちら

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyoushin/imagesong.pdf>

(岩手県HP、まなびネット岩手HPでもダウンロードできます)

歌詞の応募先はこちら

⇒ 21kyoushin@gmail.com

3【編集後記】あつしのひとりごと

「私は、一生懸命勉強して、将来は看護師になりたいと思っています。津波が起こる前、私は“春休みに、1・2年生で勉強したことを復習して、受験に向けて頑張ろう”と思っていました。でも、春休み1週間前に、津波が来ました。私の春休みは勉強をするどころではなくなってしまいました。今まで通っていた学習塾も流されました。図書館も流されました。以前は、学校まで自転車で15分ほどかけて通っていましたが、仮設住宅に移った今では、片道40分をかけて通っています。学習環境が変わってしまって、勉強する時間も少なくなり、本当に不安でした。そんな時、大槌町にコラボ・スクール“大槌臨学舎”が開かれるということを知りました。勉強の遅れを取り戻し、進路の目標を達成させるためにコラボ・スクールを志望することに決めました。」

「私は、仮設住宅に住んでいて、勉強にちゃんと取り組むことができませんでしたが、コラボ・スクールが開校することを知り、入会することで、今まで以上に集中して取り組める場所をつくることができると思い、志望しました。志望校に絶対受かるように頑張りたいです。」

この2人の中学3年生の作文（志望動機）を読んで、いかがお感じでしょうか。大槌町において、NPOが中学生の学習支援に取り組んでいますが、その開校式に向けて書かれた参加生徒の志望動機の作文です。

県及び市町村教育委員会は、教育に携わるすべての者は、これらの子どもたちの思いを真摯に受け止め、子どもたちの可能性を伸ばす取組をしなければいけない・・・と思います。

教育は、「国家100年の計」と言います。大変な“今”ではありますが、今、大人が子どもたちの思いにきちんと向き合うことが、将来の地域を背負う大人を育てることになると思います。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第63号は、2月28日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～61号）はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

~~~~~